

もっと知りたい!!

FILE 12

病院のこと・先生のこと。

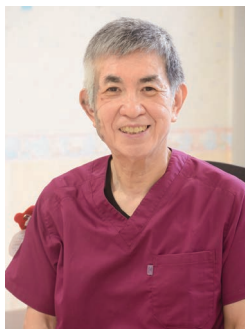
医療法人社団 美春月会

もりもとこどもクリニック

小児科



〒763-0082 香川県丸亀市土器町東四丁目 713-5
TEL 0877-25-9228
URL <https://morimoto-kodomo-clinic.com>



もりもとこどもクリニック
理事長

森本雄次 先生

▼ 病院のココが自慢！

スタッフみんなが真摯に仕事に取り組んでいること

▼ 患者さんと接する時に大切にしていることは？

できるかぎりわかりやすい説明

▼ 医師になろうと思ったきっかけは？

小学校くらいからの目標

▼ もし、医師になっていなかったら？

漁師

▼ 先生が実施している健康法は？

草引き・畑仕事

▼ 当院に期待すること

腎疾患など、高度な小児医療を

どっち？

犬派

猫派

朝食は

和食

洋食

休日は

インドア派

アウトドア派

好きなもの（こと）Best3！

1 外でいること

2 ボーとすること

3 食事

フリースペース

いつも心よく患者さんを受け入れていただき、ありがとうございます。



独立行政法人 国立病院機構

四国こどもとおとなの医療センター

〒765-8507 善通寺市仙遊町 2-1-1 TEL 0877-62-1000
<https://shikoku-mc.hosp.go.jp>
交通機関 ▼善通寺 I.C より車で 5 分
▼ JR 土讃線善通寺駅下車徒歩 25 分

四国こどもとおとな



地域の皆さまと一緒に

四国こどもとおとなの医療センター 院長 前田 和寿

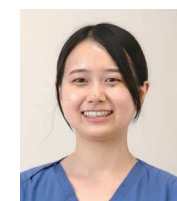
今年度は、幸せなことに研修医が8名当院で研修を受けてくれることになりました。1年目と2年目合計で12名の研修医は、地域の先生とも診療、研修会でお会いすることがあると思いますがよろしくお願いします。また、6月11日には、オークラホテル丸亀で地域医療連携室報告会を開催したところ、34医療機関、59名の医師、メディカルスタッフの皆様にご参

加いただきましたこと、誠にありがとうございました。
さて、現在 Healing Garden Project を立ち上げ、地上庭園を地域の皆さんと共に、癒しの庭へと育てる取り組みを続けています。毎月第4土曜日の10：00～12：00活動しております。機会があれば是非ご参加下されば幸いです。

研修医のご紹介

四国こどもとおとなの医療センター 教育研修部部長 新居 章

当院に新しく採用された1年目の研修医です。地域医療に貢献できるよう頑張りますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。



青木夏海

初期研修医1年目の青木夏海と申します。こどもからおとなまで、地域の皆様の健康に貢献できるよう精一杯励んでまいります。よろしくお願いいたします。



飯村果実

四国に縁はありませんが、うどんを飲める程に地域に馴染めるよう、地域のことや臨床を知る努力を惜しまず日々精進します。



川田和佳

川田和佳と申します。地域医療に貢献できるよう、先生方から多くのことを学び研鑽を積んでいきます。ご指導のほど宜しく願い申し上げます。



宮崎出帆

初期研修医の宮崎出帆と申します。一生懸命研修に励みますので、よろしくお願い致します。



浅本慶千

出身は大阪ですが香川で大学生活を送り、香川県の“丁度良さ”に魅せられ初期研修を香川で行うことに決めました。精進して参りますのでよろしくお願いいたします！



大内雅子

初期研修医の大内雅子と申します。真摯に研修に励みたいと思っておりますので、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。



鶴重美春

今年度より初期研修医として入職しました鶴重美春と申します。様々なことに関心を持ち、積極的に学びながら成長できるよう努めてまいります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



渡邊悠翔

初期研修医1年目の渡邊悠翔です。香川出身徳島大学卒業でバスケットが好きです。よろしくお願いいたします。

特集

地域の患者さんが安心して受診できる 医療施設より信頼して紹介いただける 泌尿器科診療を目指します



四国こどもとおとなの医療センター
泌尿器科 部長

上 田 修 史

地域の先生方にはいつも大変お世話になっております。

2026年4月から泌尿器科で勤務させていただいております。私の経歴を簡単に述べますと、1997年に香川大学医学部（当時香川医科大学）を卒業後、附属病院、市中病院などの勤務を経て、当院配属となりました。専門分野は腎移植、小児泌尿器科ですが、大学病院やこども病院、市中病院など様々な施設で経験を積んできたため、一般泌尿器疾患、泌尿器科癌、排尿障害などほとんどの泌尿器科疾患に対応できると自負しております。腎移植は他の領域と同様ではありますが、私一人で行える医療ではなく、多職種、スタッフの協力や検査体制の整備などが必要ですので、たちまち移植手術は行えませんが、適応の相談などには対応できると思いますので気になる患者さんなどがおられましたらご紹介いただければ幸いです。小児泌尿器科疾患については、当院では小児科、小児外科のスタッフが積極的にされていることと思いますので邪魔立てな

どせず、協力できることなどあれば力になりたいと考えております。

当科外来についてですが、平日は毎日の外来診療（午前中）を再開しております。月・火曜日は私が新患および再診外来を、水・木曜日は主に甲藤先生が外来診療を行ってくれていますが、新患は私が対応させていただいております。金曜日は香川大学の泌尿器科医が診療を行っていますので曜日を気にすることなく紹介いただければ幸いです。

午後は主に手術を行っています。手術支援ロボットは導入されていませんが、経尿道的手術、腹腔鏡手術を含めたある程度の手術は当院で施行可能です。

香川県の地域医療支援病院における泌尿器科としては規模の小さな科ではありますが、地域の先生方、患者さんの期待に添えるように全力を尽くす所存ですので、どうか遠慮なくご相談、ご紹介下さい。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

● 地域医療連携室からのご報告

四国こどもとおとなの医療センター 地域医療連携室 副看護部長 大西 真理子



前田院長の開会の挨拶

平素より当院の地域医療連携にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。職員一同、患者さんが安心して医療を受けられるよう、地域の医療機関や介護施設、行政との繋がりを大切に日々務めています。

当院では、地域の医療関係者の皆さまとのつながりを深めるために、年に一度、意見交換会の場を設けております。今年度は、令和8年6月11日に「地域医療連携室報告会」を開催し、地域から34医療機関の医師、看護師、メディカルスタッフ合わせて59名のご参加がありました。前田院長の開会の挨拶を始めに、川人成育外科系診療部長より今年度当院へ赴任された医師の紹介、地域医療連携室長である東野副院長からは「地域医療連携室の現状」を報告させていただきました。



竹谷副院長



東野副院長（地域医療連携室長）

続いて、水藤乳腺甲状腺クリニック院長の水藤晶子先生から「当院での病診連携の取り組み～開放病床運用と地域完結型医療の実践～」についてご講演いただきました。水藤先生は、地域で支える乳癌診療を目指し2021年から当院の開放病床をご利用いただいています。開放病床は、患者さんが少しでも近くで最善の治療が受けたいというニーズと、主治医が病院と連携することで安心感に繋がる診療であると感じました。それには、それぞれの施設が役割を持ち、機能を分担し、顔の見える関係づくりとお互いの理解と信頼が成功の鍵であることをご講演いただきました。

そして、香川大学医学部附属病院の整形外科教授の石川正和先生からは「『点』から『線』、そして『面』で支える学閥を超えた地域医療の創出」についてご講演いただきました。石川先生からは「まずは僕を知ってほしい」というところから、ご自身が医師になりたいと思ったきっかけや、現在も進行中である医療機器の開発や軟骨の再生医療に携わったご経験など、先生の先駆的な取り組みに深い感銘を受けました。また地域医療においては若手の育成も重要であり「若手のストロングを見つけること、話を聞く、話すことが大切である」というお話も聞くことができました。両先生方のお話は、地域の患者さんのことを第一に考え、日々の地域医療に向き合っている熱い思いを感じるご講演でした。

また、先生方のご講演の後に、ご参加いただいた皆様と当院職員とで意見交換会を行いました。このような場を通じて、顔の見える関係づくりが少しずつ広がっていることを実感しております。地域医療連携は、患者さんの生活を支える大切な基盤です。今後も「顔の見える関係づくり」を大切にしながら、地域とともに歩む医療を目指してまいります。



水藤晶子先生



石川正和先生

